

平成 28 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ グ ニ ス
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 錢 鋌
 (コード番号：3689 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 山 本 彰 彦
 (TEL. 03-6408-6820)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 28 年 11 月 4 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、下記のとおり、平成 28 年 8 月 12 日に公表した業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 9 月期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

【連結】

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	5,500	1,200	1,200	900	146.50
今回修正予想 (B)	5,500	1,400	1,400	1,050	170.43
増 減 額 (B - A)	—	200	200	150	
増 減 率 (%)	—	16.7	16.7	16.7	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 9 月期)	2,419	△38	△148	△306	△50.43

※ 百万円未満切り捨てで表示をしております。

※ 今回修正予想の 1 株当たり当期純利益は、平成 28 年 9 月期の期中平均発行済株式数 (6,161,036 株) により算出しております。

2. 修正の理由

(売上高の見通し)

ほぼ、予想売上高どおりの着地となる見込みであり、予想数値を据え置いております。

(営業利益及び経常利益の見通し)

営業利益、経常利益につきましては、期中に予定しておりました広告宣伝費につきまして、既存サービス及び平成 29 年 9 月期以降に展開する新規サービスへの投資計画を精査し、その費用対効果を検討した結果、既存サービスの拡充には当初想定していたほどの費用をかけなくても実現可能と判断することができたため、機能強化及び新規サービスへの投資

に充てる投資の割合を変更し、当該費用を内部留保することといたしました。このため、当連結会計年度における予想営業利益を1,200百万円から1,400百万円(前回予想比16.7%増)に、予想経常利益を1,200百万円から1,400百万円(同16.7%増)へ上方修正いたしました。

(親会社株主に帰属する当期純利益の見通し)

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、主に営業利益及び経常利益の増加を要因として増加しております。その他、平成29年9月より連結納税制度を採用する方針であることから、繰延税金資産の算定上、課税所得見積もりの判断が個別所得から連結所得へと変更となりました。その結果、法人税等調整額が利益方向に増額されたことも当期純利益の増加要因となっております。このため、当連結会計年度における予想親会社株主に帰属する当期純利益を900百万円から1,050百万円(同16.7%増)へ上方修正いたしました。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上